

## トンボソウ

*Tulotis ussuriensis*  
(Regel et Maack) Hara

ラン科  
Orchidaceae

## カテゴリー

大分県 II  
環境庁 掲載なし

|      |  |
|------|--|
| 選定理由 | 県内の草原や林縁に希に生え、個体数も少ない。多くは林縁に生えるため、植生遷移の進行で生育状態に消長がみられ、生育地の減少や消滅が懸念される。 |
| 県内分布 | 英彦山・犬ヶ岳山地、玖珠丘陵地・山地、九重火山群、由布・鶴見火山群、祖母・傾山地                               |
| 分布域  | 北海道、本州、四国、九州(佐賀・熊本・大分・宮崎・鹿児島)<br>朝鮮半島、中国・中国(東北部)、南千島、ウスリー              |
| 生育環境 | 低山地や山地の草原や林縁。  |
| 現 状  | 植生遷移の影響を受けて、消滅した生育地がある。  |
| 備 考  | 北方寒冷地要素の植物で、九州は、分布の南限域にあたる。国立公園指定植物 [ 阿蘇くじゅう ]                         |

## オオハクウンラン

*Vexillabium fissum* F. Maekawa

ラン科  
Orchidaceae

## カテゴリー

大分県 IB  
環境庁 IB

|      |  |
|------|--|
| 選定理由 | 分布域が狭い。県内での生育地、個体数はともに少なく、持続して生育しているか把握しにくい。林内に生育する微少な植物で、植生遷移の進行による生育環境の悪化で、生育地の消滅が懸念される。 |
| 県内分布 | 津江山地、九重火山群、祖母・傾山地  |
| 分布域  | 本州、九州(大分)  |
| 生育環境 | 丘陵地や低山地の林内。  |
| 現 状  | 溪谷沿いの自然林内に希に生える。植物体が小さいので7～8月の花期でないと確認しにくい。  |
| 備 考  | 本県は、分布の南限域にあたる。  |

## キバナノショウキラン

*Yoania amagiensis*  
Nakai et F. Maekawa

ラン科  
Orchidaceae

## カテゴリー

大分県 IB  
環境庁 IB

|      |  |
|------|--|
| 選定理由 | 県内ではごく限られた場所に生育し、個体数も極めて少ない。林内の生育環境に影響されやすく、生育状態の消長が著しい。常に消滅の危険性が高い。 |
| 県内分布 | 九重火山群、祖母・傾山地   |
| 分布域  | 本州(関東地方西南部、伊豆半島、東海地方、奈良)、九州(福岡・熊本・大分・宮崎・鹿児島)                         |
| 生息環境 | 低山地や山地の林内。   |
| 現 状  | 「祖母・傾山地」ではスズダケの中に生育している。無葉ランで生育の確認が難しい。                              |
| 備 考  | 国立・国定公園指定植物 [ 阿蘇くじゅう、耶馬日田英彦山 ]                                       |